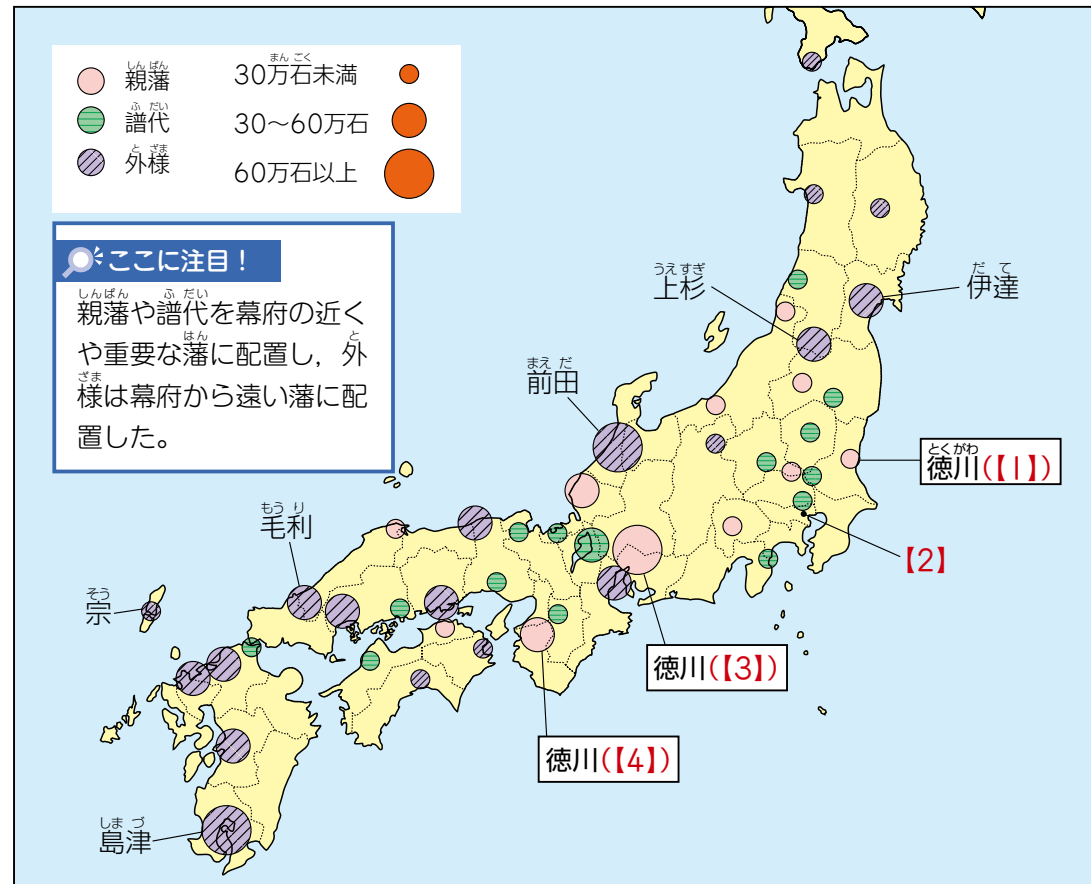
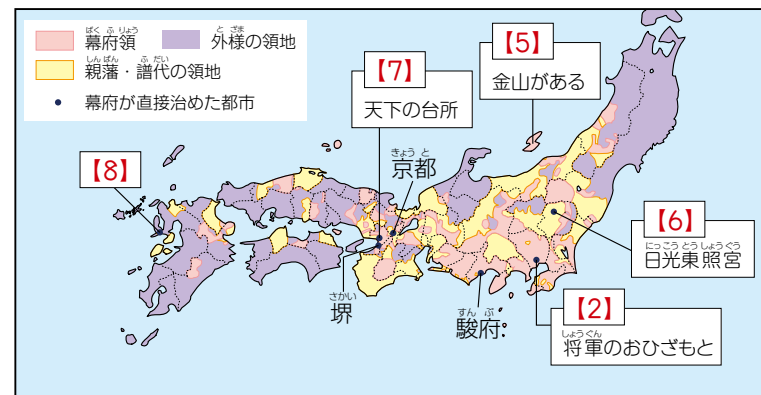




関ヶ原の戦いに勝利した徳川家康は、1603年に征夷大將軍に任じられ、江戸幕府を開きました。江戸幕府の大名支配など、幕府のしくみを確認しましょう。



主な大名の配置 (1664年ごろ)



幕府領と大名の領地 (1664年ごろ)

関連 ➡ 76 ページ 主な都と幕府の位置

幕藩体制

- 江戸幕府は、全国の土地を領地として大名に分けあたえ、治めさせました。幕府があたえた領地を【9】といい、このような支配の制度を【10】体制といいます。
- 幕府が直接治めた土地や都市を幕府領（天領）といいます。幕府領には、「將軍のおひざもと」と呼ばれた【2】や、「天下の台所」と呼ばれた【7】があります。さらに、外国との貿易港のある【8】、金山のある【5】なども幕府領とし、そこから得られる収入を幕府が独占していました。

大名統制

- 江戸幕府は、大名を徳川氏との関係に応じて、【11】、【12】、【13】の3つに分けました。
- 御三家など徳川氏の一族である【11】や、古くから徳川氏に従っていた大名である【12】は幕府の近くや重要な藩に配置され、重要な役職をあたえられました。
- 関ヶ原の戦い前後に徳川氏に従った大名は、【13】として幕府から遠い藩を治めさせました。

ポイント 大名の配置とその意味をおさえておこう！

- 親藩・譜代…江戸の近くに配置、外様…江戸から遠い場所に配置
- 徳川御三家…尾張・紀伊・水戸を治める
- 江戸・大阪・長崎・佐渡…幕府領とされ、幕府が直接治める

武家諸法度による大名統制 さらにチェック！

幕府は、大名が反抗できないよう、さまざまなくふうをしていました。その1つに、3代將軍の徳川家光が武家諸法度に加えた、参勤交代という制度があります。参勤交代とは、大名に藩と江戸とを1年おきに往復させることを義務付けた制度のことです。大名行列にはお金がかかり、大名にとっては大きな負担になりました。特に幕府から遠い外様にとっては、より負担の大きいものでした。

入試ではここが問われる！

- 大名の配置図などの資料を見て、江戸幕府がどのように大名支配を行っていたかを記述させる問題や、御三家の位置を問う出題などがあります。



16世紀末から、大名や大商人によって、東南アジアとの貿易がさかんに行われるようになりました。しかし、江戸幕府の鎖国政策によって、貿易は制限されるようになります。この時代の外国との関係について、見ていきましょう。

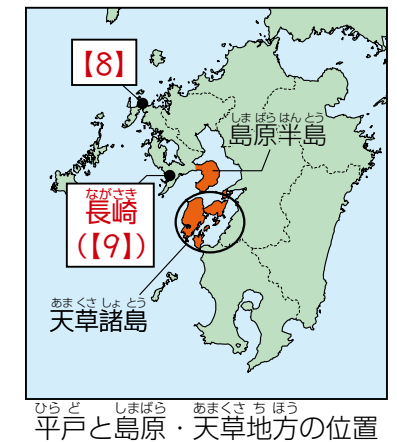


江戸時代初期の貿易

- 江戸幕府が発行した朱印状をもつ貿易船による、[7] 貿易がさかんになりました。外国に移り住む日本人も増加し、貿易がさかんであった東南アジアの各地には日本人の住む日本町がたくさんできました。

鎖国への歩みと島原・天草一揆

年	できごと
1613	全国に禁教令を出す
1624	スペイン船の来航を禁止する
1635	日本人が外国へ行くことと、外国から帰ってくることを禁止する
1637	島原・天草一揆（島原の乱）
1639	ポルトガル船の来航を禁止する
1641	[8] のオランダ商館を、長崎港内の [9] に移す



江戸時代初期の外交

- [2] …豊臣秀吉の [2] 出兵により、国交がとだえていましたが、徳川家康が対馬藩を通じて、国交を再開させました。[2] から、[10] が訪れました。
- [4] 王国（沖縄県）…中継貿易で栄えていましたが、17世紀初めに薩摩藩に征服されました。
- [1]（北海道）…松前藩が [11] との交易を独占していました。[11] によって不利な交易であったため、1669年に [12] を中心に立ち上がりましたが、敗れました。

ポイント 貿易拠点をおさえておこう！

- 朱印船貿易により、シャム（現在のタイ）などに日本町ができる
- 鎖国下では、長崎港で中国・オランダとの貿易が行われる

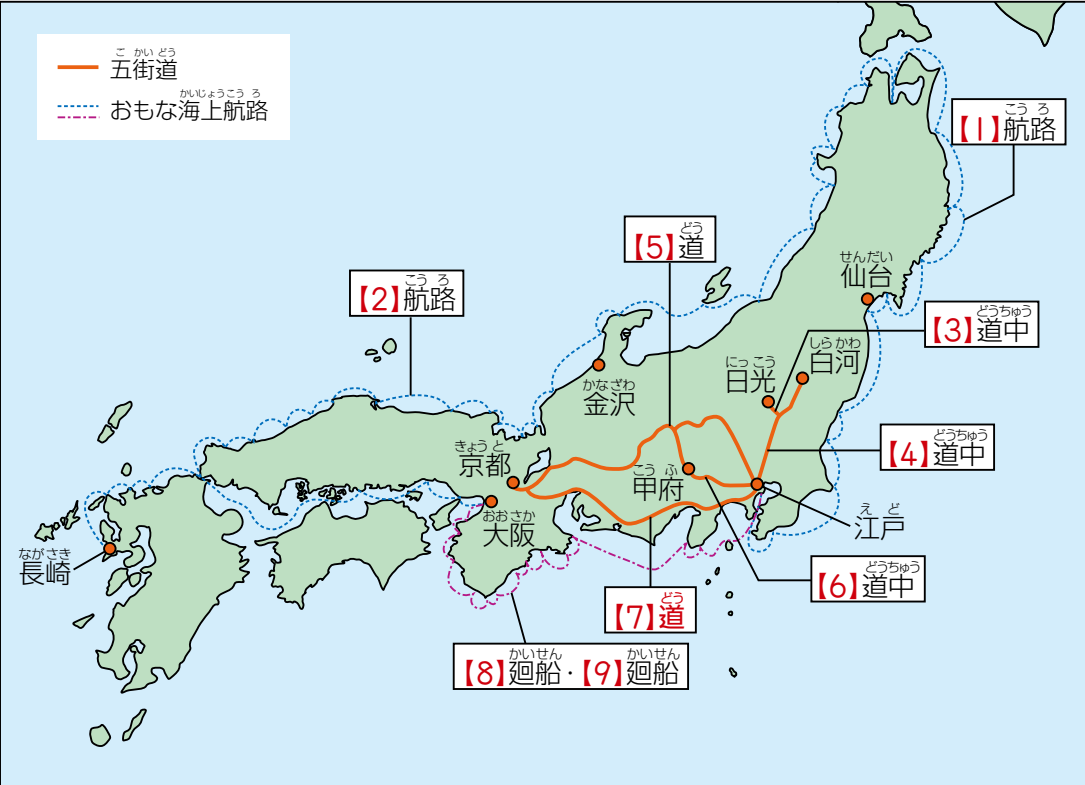
入試ではここが問われる！

- 朱印船貿易について、地図に示された航路から貿易名を答えさせたり、日本町についての知識が問われたりします。
- 九州地方の地図から、長崎港や出島の場所を選ばせる問いが見られます。

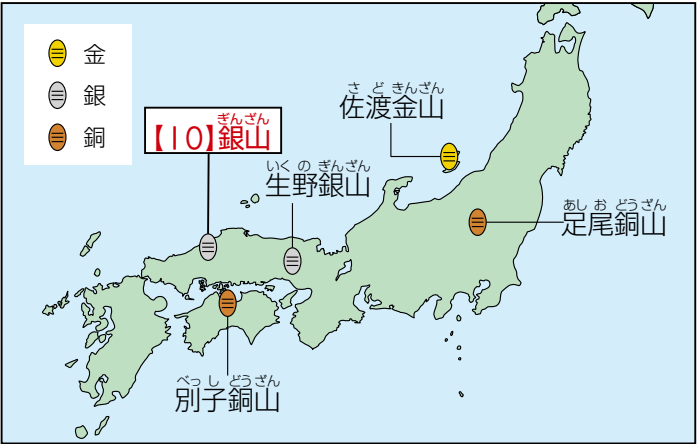
16 江戸時代の交通と産業



江戸幕府は、江戸と各地の城下町を結ぶ街道を整備しました。さらに、全国各地から年貢や特産物を運ぶための、江戸や大阪に向かう航路が開かれました。江戸時代の主な陸上・海上交通と、各地の鉱山について確認しましょう。



江戸時代の都市と交通



江戸時代の鉱山

関連 42 ページ 幕府領と大名の領地 (1664 年ごろ)

主な陸上交通

- 江戸の日本橋を起点とする 5 つの主要街道をまとめて【1】といいます。
- 【7】道…江戸と京都を結ぶ。
- 【5】道…江戸と草津（滋賀県）を結ぶ。
- 【6】道中（甲州街道）…江戸と甲府（山梨県）・下諏訪（長野県）を結ぶ。
- 【3】道中（日光街道）…江戸と日光東照宮のある日光（栃木県）を結ぶ。
- 【4】道中（奥州街道）…江戸と白河（福島県）を結ぶ。
- 街道には関所や宿場が置かれ、宿場の周りは【12】としてにぎわいました。

主な海上交通

- 【2】航路…日本海沿岸の港から下関・瀬戸内海を通り、大阪へ向かう。
- 【1】航路…日本海沿岸の港から津軽海峡を通り、江戸に向かう。
- 江戸と大阪の間には、定期船として【8】廻船や【9】廻船が往復していました。

各地の鉱山

金山	佐渡（新潟県）
銀山	【10】（島根県）、生野（兵庫県）
銅山	足尾（栃木県）、別子（愛媛県）

江戸時代に栄えた都市

- 金沢…前田氏が治める加賀藩の城下町として栄えました。加賀藩は、「加賀百万石」と呼ばれ、幕府を除いて最大の石高をほこっていました。
- 仙台…伊達氏が治める仙台藩の城下町として栄えました。

ポイント 五街道と航路は、ルートも覚えよう！

- 東海道…江戸と京都を結ぶ街道
- 西廻り航路…日本海沿岸から大阪へ、東廻り航路…日本海沿岸から江戸へ

入試ではここが問われる！

- 交通については、地図上のルートから、街道名や航路名を答えさせる出題が見られます。特に東海道は出題されやすく、『東海道五十三次』などの絵画と関連して出題されることもあります。

17 外国船の来航と開国



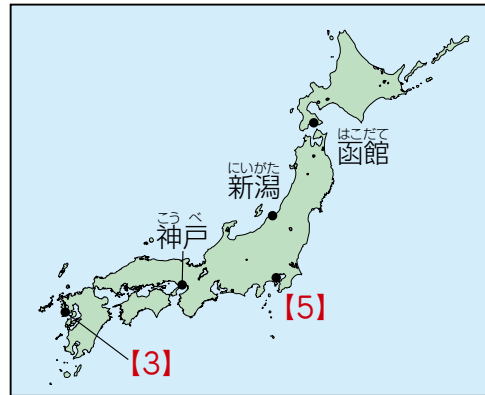
18世紀後半ごろからの外国船の接近と、幕府の対応から、開国までを見ていきます。開国前に外国船が来航した港と、日米和親条約・日米修好通商条約によって開港された港の場所などを確認しましょう。



幕末の外国船の来航



日米和親条約で開港した2港



日米修好通商条約で開港した5港

関連 ➡ 80 ページ 主な港

外国船の来航

- **[1]** …ロシアの使節ラクスマンが貿易を求めて来航（1792年）。
- **[3]** …ロシアの使節レザノフが貿易を求めて来航（1804年）。
- フェートン号事件以降、外国船の接近が増加したことから、幕府は1825年に **[6]**（異国船打払令）を出しました。

開国と開国後に起こった外国との事件

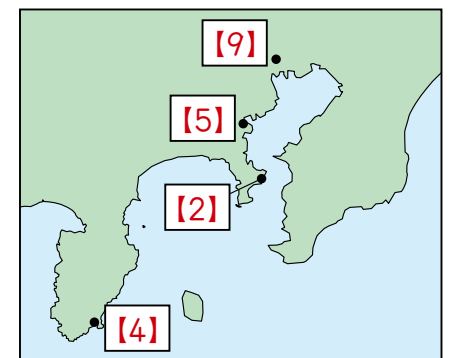
- 1853年にアメリカ合衆国（アメリカ）の使節ペリーが **[2]** に来航し、幕府に開国を求めました。
- **[7] 条約**…幕府が鎖国政策を変更し、1854年にアメリカと結んだ条約です。 **[4]** と函館が開港され、下田には領事が置かれました。
- **[8] 条約**…大老の井伊直弼が、1858年に結んだ条約です。函館・神奈川（**[5]**）・**[3]**・新潟・兵庫（神戸）の5つの港が開かれました。

ポイント 地名と場所を、セットで覚えておこう！

- 浦賀…ペリーが来航した。
- 下田・函館…日米和親条約で開港された。
- 函館・神奈川（横浜）・長崎・新潟・兵庫（神戸）
…日米修好通商条約で開港された。

✓ 幕末の重要な地名 …… さらにチェック！

神奈川県と静岡県には、浦賀・横浜・下田など幕末の歴史に関わる非常に重要な場所が多くあります。
右の地図で詳細な位置まで確認しておきましょう。

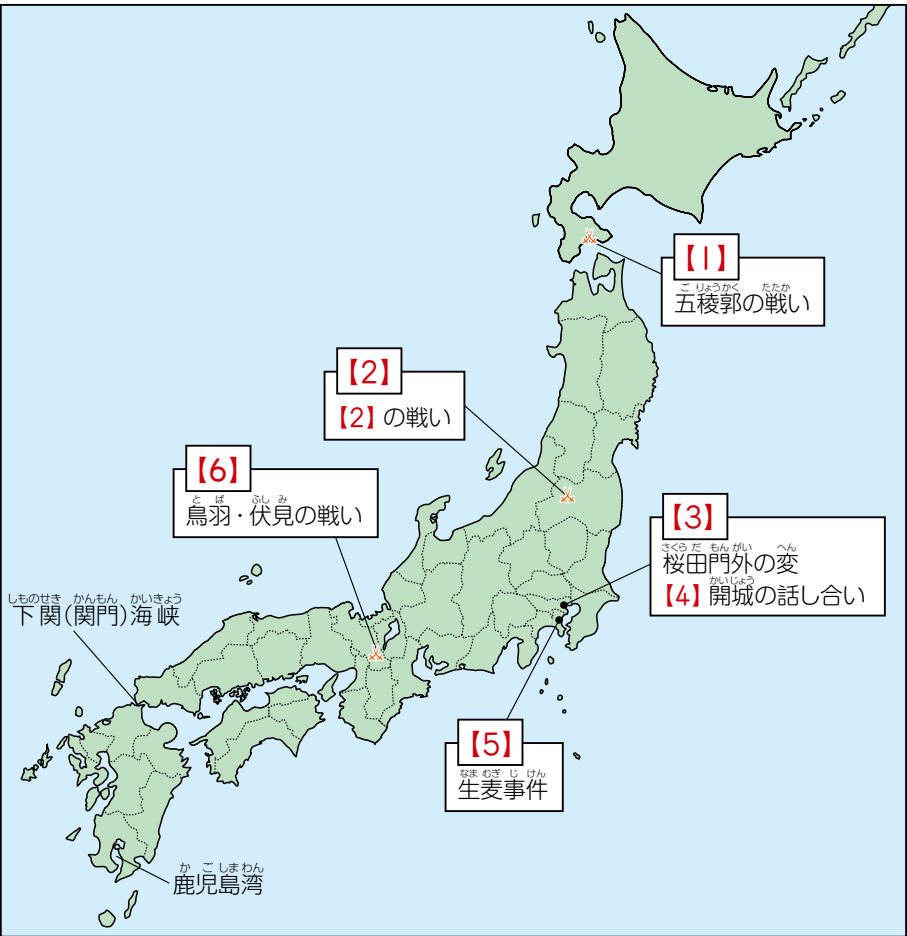


🏠 入試ではここが問われる！

- ペリーが来航した浦賀や、幕末に結ばれた2つの条約によって開港された港は、地図から位置を選ばせる問題が頻出です。

18 江戸幕府の終わり

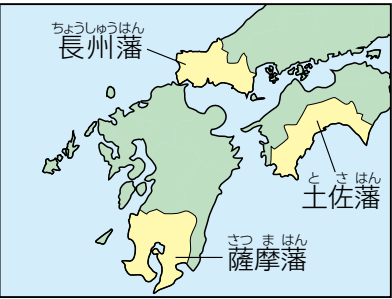
幕府が朝廷の許可なく日米修好通商条約を結んだことから、幕府に反対する尊王攘夷運動がさかんになりました。尊王攘夷運動の高まりから、倒幕までの動きを確認しましょう。また、倒幕に関わった人物とその出身地にも注目しましょう。



尊王攘夷運動の高まり～戊辰戦争

倒幕に関わった主な人物の出身の藩

長州藩	高杉晋作 木戸孝允（桂小五郎）
薩摩藩	西郷隆盛 大久保利通
土佐藩	坂本竜馬



安政の大獄と桜田門外の変

- **【7】の大獄**…井伊直弼は、幕府に反対した大名などを処罰し、尊王攘夷を唱える吉田松陰などを処刑しました。
- **【8】の変**…**【7】**の大獄に反発した水戸藩出身の武士たちによって、1860年に江戸城の**【8】**で井伊直弼が暗殺されました。

尊王攘夷運動の高まり

- 長州藩と薩摩藩では、尊王攘夷運動が高まっていたが、以下の事件をきっかけに、攘夷が不可能だとさとり、藩の方針を倒幕へと変更しました。

長州藩	下関（関門）海峡（山口県・福岡県）を通過する外国船を砲撃 →仕返しとして、四国艦隊下関砲撃事件が起こる
薩摩藩	生麦村（現在の神奈川県 【5】 市）で、イギリス人が薩摩藩の武士に殺傷される（生麦事件） →仕返しとして、鹿児島湾で薩英戦争が起こる

- 1866年に土佐藩出身の坂本竜馬の仲立ちにより、薩摩藩と長州藩が薩長同盟を結びました。

戊辰戦争

- 大政奉還と王政復古の号令の後、新政府軍と旧幕府軍の間で戦いが起こりました。新政府軍の勝利に終わったこの一連の戦いを、**【9】戦争**といいます。
1868年1月 烏羽・伏見の戦い（**【6】**府）
1868年3月 **【4】**開城の話し合い（東京都）
1868年8～9月 **【2】**の戦い（福島県会津若松市）
1869年5月 **五稜郭の戦い**（北海道**【1】**市）

ポイント 倒幕に関わった重要人物は、出身の藩も覚えよう！

- 長州藩…高杉晋作・木戸孝允
- 薩摩藩…西郷隆盛・大久保利通
- 土佐藩…坂本竜馬
- **五稜郭の戦い**（函館）…戊辰戦争の最後の戦いが行われる

入試ではここが問われる！

- 幕末の重要人物について、出身の藩を、地図中から選ばせる問題が見られます。現在の都道府県を問われることもあるので、地図で確認しておきましょう。
- 各地で戦いが起こった戊辰戦争は、戦いのあった地名と場所を覚えておきましょう。